

本場の英語 児童楽しく

荒土小で授業公開

勝山市、独自ALT採用



児童に英語を指導する
ALTのメーガンさん
＝8日、勝山市の荒土小

は、ネーティブの英語に
抵抗ない様子で楽しそう
に授業に臨んでいた。

下牧尋君は「発音が(日
本人の先生とは)違って
聞こえるけど分かりやす
い」と話していた。

(宮本幸直)

勝山市教委は市内小学
校での英語教育強化に向
け、本年度独自に外国語
指導助手(ALT)を採用
し授業を行っている。8
日は荒土小でALTによ
る英語授業を公開した。
同市では4年前に文部
科学省の「英語教育強化
地域」に選ばれ小学校で
の英語教育にいち早く取
り組んできた。これまで
の授業では担任教師と外
国語活動支援員で指導。
さらに県教委が本年度、

小学6年の英語教科化、
小学3～5年の外国語活
動導入を国に先行して実
施したのに合わせ、市独
自にALTを採用した。
すでにメーガン・ダン
カンさん(23)＝米ミシガ
ン州出身＝が着任し、2
学期にはもう1人採用す
る予定。
この日はメーガンさん
が行う6年生の英語授業
を公開した。
「朝食を何時に食べた
か」「放課後に何をす